

戦没者慰霊祭

4月27日(日)午前10時より、自治会主催による令和7年度馬路町戦没者慰霊祭を、90柱の御霊の名前が刻まれた忠魂碑の御前にて厳粛に挙行了しました。戦没者の皆様を偲び、参列者一同で黙祷をささげ、照明寺、慶應寺、長林寺ご住職読経の中、悲しみの歴史を決して繰り返してはならないとの強い決意を新たにご冥福をお祈り申し上げました。先の大戦から80年の歳月が経過、私たちが今享受している日本の平和と繁栄は、若くして命を捧げられた戦没者の犠牲の上にあることを、決して忘れてはなりません。世界平和をお祈りすると共に、ふるさと馬路町を、今後とも一層希望に満ち、また活力あふれる町にしていく事を誓い合いました。(中澤和洋)



亀岡川東学園前交通安全呼びかけ活動

30

学園前
制限速度

5月16日(金)午前7時30分から児童生徒が登校する約1時間の間、亀岡川東学園前の市道で生徒の通学安全を守るため、亀岡警察署員、亀岡市職員、交通安全地域委員、学園職員、PTA役員、各区区長及び自治会議員等約40名が、横断幕やハンドプレート掲げ、慎重な運転のお願いと、ドライバーに啓発チラシを配布し、一層の安全運転への意識を高めてもらうための「呼びかけ活動」を行いました。各地で児童の交通事故が多発していますが、皆様も、時間に余裕を持ち、焦らず落ち着いた運転を心掛け、事故のない安全・安心な通学になるようご協力をお願いいたします。(畑 忠明)



馬路町いまどきトピックス このひと・このまち

今回は、珍しい三本一葉で生長する「三鈷の松(さんこのまつ)」を紹介します。

「三鈷の松」とは、和歌山県高野山の御影堂の前にある松の木で、弘法大師空海が入唐留学から帰国する際に真言密教を広めるのにふさわしい場所を求めて、三鈷杵(さんこしょう)と呼ばれる法具を投げました。その後、高野山で松の枝にぶら下がっている三鈷杵を発見し、この地を真言密教の修道場と決めました。

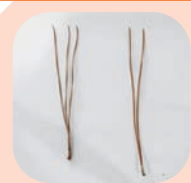
松葉は通常二本一葉で生長するものですが、高野山御影堂の前にある松の木は三葉となっており、三鈷の形に似ていることから「三鈷の松」と呼ばれるようになりました。

「三鈷の松」には次のようなご利益が伝えられています。

- ・松の葉が三葉になっていることから「夫婦和合・家内安全」を象徴している
- ・枯れた金色の松の葉を身につけると「金運」のご利益がある
- ・枯れた金色の松の葉を身につけると「智慧(ちえ)・慈悲・真心」を授かるといわれている

参拝者の中には、縁起物として松の木の落ち葉を持ちかえり、お守りとして大切にしている人もいます。

驚くことにこの「三鈷の松」が馬路に存在していました。しかし悲しいかな樹齢80年のこの松の木も近年の異常気象の熱さに耐えきれず、枯れてしまいました。家主が「三鈷の松葉」を20本ほど拾い集めましたので、先着にて差し上げられます。その前に一度庭の松の木を探してみてください。もしかしたら「三葉の松葉」があるかも知れません。(畑 良人)



編集後記

寒い冬をのりこえて待ちに待った桜の開花は、春の訪れを告げてくれました。池尻の山を背に水面を囲む桜の大木は、いやなことも忘れる程に圧巻で私たちを魅了してくれました。散りゆく花びらは初夏を運び、今年度も本格的なスタートです。笑顔と楽しむ事を忘れず、がんばっていこうと気持ちを新たに今春です。(人見典子)

編集長 中川 徹
編集委員長 中澤和洋
編集副委員長 中澤嘉夫
委員 名倉勝香
委員 竹田晴美
委員 人見真司
委員 人見典子
委員 中澤千裕

馬路町の人口と世帯数
2025.05.01現在

人口	1,428	
	男	677
内訳	女	751
世帯数	655	

(亀岡市人口統計表より)



今後の行事予定

令和7年
6月～9月

6月 19日(木)	川東地区人権啓発推進協議会総会
6月 22日(日)	亀岡市制 70 周年記念事業 第10回町民グラウンドゴルフ大会
7月 5日(土)	馬路町サンガ応援事業
7月 22日(火)	亀岡市との地域こん談会
8月 22日(金)	町民大運動会実行委員会
9月 6日(土)	亀岡市総合防災訓練
9月 14日(日)	馬路町敬老会
9月 17日(水)	八幡宮社秋の祭典
9月 26日(金)	馬路町文化祭実行委員会



発行者:馬路町自治会 亀岡市馬路町流川2-1(TEL:0771-22-0661) ホームページ <https://umaji-cho.com> 印刷:(株)天声社

あいつ 自治会長 中川 徹

紫陽花が鮮やかに花開く季節となりました。馬路町の皆様には元氣でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、令和7年度が始まり、2か月が過ぎました。自治会活動におきましては、本年3月に令和6年度正・副区長様、隣組長様、自治会議員の合同会議を開催し、令和6年度の事業報告を行い、また、5月10日には令和7年度正・副区長様、隣組長様、自治会議員の合同会議を開催し、令和6年度の決算報告と令和7年度の事業計画について説明、報告をさせていただきました。会議では皆様からご了解を得、ご支援・ご協力を得る中で、令和7年度の取組を進めているところです。

自治会議員は、引き続き務めさせていただきます。私も引き続き令和7年度の自治会長を務めさせていただきます。浅学菲才な私が馬路町の自治会長を担うことは、日頃から、大変恐縮に存じておりますが、馬路町を愛する気持ちをもって誠心誠意、頑張つてまいりたいと存じますので、ご理解とご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



完成した平の沢中池駐車場

さて、平の沢中池駐車場が完成いたしました。去る6月1日には、亀岡市長桂川孝裕様をはじめ、多くのご来賓の皆様、また、地元住民の皆様のご参加を得て、完成感謝式を行いました。駐車場は約40台の車と大型バスも利用できる、亀岡市内でも屈指の大型駐車場となっております。お越しいただく皆さんの利便性が大いに高まること、違法駐車や渋滞などがなくなり、交通安全にも役立つことが期待されます。平の沢池周辺は馬路町はもちろん、川東地区やしいては亀岡市有数の観光スポットになります。馬路町の発展にも大きな効果が期待されます。

また、川東保育所の新築移転についても、亀岡市へ安全安心で子どもたちが笑顔で楽しく過ごせる新園舎の建設に向けて地元説明会等を開催いただくようお願いしているところです。

今年度も、魅力ある馬路町の発展に向けて取り組んでまいります。皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

桂川市長表敬訪問

4月16日(水)中川自治会長と7名の自治会議員が桂川市長を表敬訪問しました。自己紹介のあと、自治会長から日頃の支援や平の沢中池駐車場のお礼を申し上げました。市長からは秋に市制70周年の式典やレセプションがある事、子どもファーストクーポンの事等をお話いただきました。また馬路町に関する事として、「中川小十郎翁生家を記念館や一棟貸しの民泊にする計画」「川東保育所新築移転については子どもたちにとってより安全で楽しく過ごせる保育所にした」と、また「亀岡川東学園とも連携をとり教育学区として進めたい」とのお話をいただきました。また現在開催中の大阪万博を、さまざまな国の文化や価値観にふれ、多くの学びを得られる貴重な教育の場と捉え、小中学生は全員見学に行く予定とのことでした。これらの事からも、小さいうちからいろいろな体験をしてほしいとの市長の思いが伺えます。

今回の訪問は、大変地域の事を考えていただいているなど感じましたし、中身の濃いよい時間となりました。

(中澤千裕)

